

環境保全活動の 推進を担って

登別市環境保全市民会議の 取り組み

登別市環境保全市民会議の委員は、現在30人います。

委員は、環境保全に取り組んでいろいろな事業所や団体から選ばれているので、委員同士の情報交換はそれぞれ目指すものや活動内容に違いがありとても参考になります。環境と一口に言いますが、市民会議の活動を通して感じることは、環境というものは実に幅広いものだという事です。

登別市には環境基本計画があり、環境施策が系統的に定められています。市民会議ではその施策の推進をテーマに議論を重ねています。



▲仲川弘誓さん

新しい環境家計簿

また、集中的な取り組みが必要な場合は、部会を設けて検討しています。今は、家庭から排出される二酸化炭素を抑制する『環境家計簿の作製検討部会』と、貴重な動・植物の生息地を特定するために『自然遺産構想検討部会』を設けています。

国内の二酸化炭素総排出量の13%超は、家庭から排出されたものです。わたしたちは、地球温暖化防止のため、日常生活において二酸化炭素の排出量を抑制する気遣いやライフスタイルの工夫を考えなければなりません。

しかし、日常の工夫でどの程度の二酸化炭素が削減されるのか、具体的な数値が示されなければ継続的な活動にはつながりません。

そこで、わたしたちは市民の皆さんがより簡単に取り組むことができ、そして、二酸化炭素の排出量と使ったお金の把握ができる『環境家計簿』

登別市環境保全市民会議は、環境保全活動の取り組みを積極的に推進するために設置され、事業者や民間団体の代表者、公募した市民から構成されています。

この市民会議は、講演会などの活動を通じた環境保全の啓発、各委員が所属している事業所や団体の環境保全の取り組みなどを情報交換しながら、参加している委員の皆さんが熱心に取り組まれています。

今月号では、その活動の様子などを会長を務める仲川弘誓さんに伺いましたのでお知らせします。

を作製しました。

この家計簿はパソコンからダウンロードして使用しますが、家庭から排出された二酸化炭素の量が簡単に分かりますので、多くの方に活用していただきたいです。今後は、環境家計簿の普及方法を検討し、具体的な活動へ移行したいと考えています。

※環境家計簿のダウンロード <http://p://www.city.noboribetsu.lg.jp>

↓環境・健康↓登別市環境基本計画↓環境家計簿とお進みください
(環境保全の観点から印刷したものは用意していません)。

子どもの感性に驚き 環境講演会を開催して

環境講演会は、子どものころから家庭などの身近なところでできる環境活動を、意識してもらいたいと思いつから開催しています。

テーマは、小学生にも理解ができます、好奇心がわくようなものになっています。最近では『シベリア永久凍



▲小林快次さん

土の融解に伴って地表に現れたマンモス』や『川のしくみとサケの生態』などですが、今年度は恐竜の繁栄と絶滅期における気候変動などを内容とした『恐竜研究の最前線』をテーマに、現在の地球温暖化がもたらすと考えられる気候の変化と人類への



▲環境講演会